

平成23年度 事業計画書

1 国際化推進事業 【30,252千円】

(1) 多文化共生支援事業 (2,486千円)

県内全域を対象とした情報の収集・発信と多言語コミュニケーション支援、日本語学習支援を軸として、多文化共生社会へ向けた地域づくりを目指す。

- ◆「多言語インフォメーション・センター」の運営
- ◆外国人のための法律相談
 - ◆外国人相談実務者のための研修
 - ◆多言語サイト「All Around Gunma」の運営
 - ◆多言語メールマガジン発行
 - ◆外国語情報誌「THE GUNMA GUIDE」発行
 - ◆日本語学習支援事業

(2) 国際交流・協力推進事業 (1,514千円)

人材育成とコーディネート機能を軸として、県内の国際交流・協力活動の活性化を図るとともに、県民が参画する国際交流・協力活動の促進へ向けた環境整備を行う。

- ◆国際交流ボランティア人材バンクの運営
- ◆国際交流ボランティア研修会
- ◆ぐんま観光体験ツアー
- ◆市町村国際交流協会等連絡会議
- ◆国際交流・協力活動促進イベント
- ◆国際交流・協力団体活動調査
- ◆ぐんまグローバルセミナー

(3) 受託事業 (16,600千円)

多文化共生施策充実のための補完事業

外国人コミュニティ等に対する多文化共生施策を充実させるため、外国語の通訳、翻訳、日本語教育の環境整備や外国人学校との連携促進事業など県行政を補完する事業を行う。

2 観光推進事業 【205,897千円】

(1) 観光情報の収集発信及び案内 (690千円)

各地域・他団体との連携協力により広く情報収集を図るとともに、観光ナビネットの管理運営を群馬県から受託し、ホームページと併せタイムリーな情報を発信する。

群馬県から受託事業として、観光案内所（高崎、東京）の運営を受託し、的確な観光案内に努める。

(2) 観光宣伝事業 (75,230千円)

県内外からの観光客を呼び込むため、各地域・他団体及び関係者との連携協力を図りながら、着地型ツアー「はばたけ群馬観光博覧会」を群馬県全域で造成し、着地型旅行の商品化を図る。

また、より広い範囲の潜在観光旅行需用者の掘り起こし及び抱え込みを図るため、観光展の実施及び参加出展するとともに、新聞、雑誌、ラジオ、テレビなどを媒体に効果的に県内外に情報発信を行う。

平成23年7月から9月の3ヶ月間に実施される群馬デスティネーションキャンペーン（群馬DC）については、県内外に本県をより強力にPRできる絶好の機会と捉え、群馬県をはじめ関係諸団体及び地域関係者との協力体制を強化し、広く群馬の魅力の周知を図ると同時に、群馬DCを契機とし更なる群馬県の魅力アップ及び観光振興に努める。

一方、海外からの誘客対策として、群馬県と連携し群馬の観光認知度向上に努め、訪日客の本県への誘客を図る。

(3) 受託事業 (135,976千円)

群馬県から、観光宣伝、情報発信、案内等の充実のための事業を受託し、本県の観光振興、推進に努める。

主な、受託事業は下記のとおり。

- ・ぐんまコンシェルジュ観光PR事業
- ・海外コンシェルジュ（高崎、上毛高原）事業
- ・教育旅行受入事業
- ・ふるさと基金雇用創出事業、緊急雇用対策事業
など

3 その他事業（特別会計）

（1）外国人未払医療費対策事業（9,652千円）

外国人を診療したが、受け取るべき医療費を回収できないでいる医療機関に、その医療費の一部を補填する。

（2）宿泊斡旋事業（15,780千円）

宿泊客を含めた誘客を促進するため、本協会本部、高崎、東京の案内所を中心に宿泊斡旋等を行う。

また、旅行業関連の事業にも積極的に取り組み、主催旅行、手配旅行の請負等を行うとともに、群馬県庁内の旅行コーナーにおいて、旅行商品の代理販売等を行う。

（3）ぐんまちゃん家管理運営事業（50,467千円）

群馬県から、ぐんまちゃん家の管理運営を受託し、群馬県の観光宣伝及び群馬県産品のPRを行うとともに、群馬県産品等の販売を行う。

（4）観光施設事業（11,500千円）

県立赤城公園内、榛名公園内において観光施設（厚生文教団地等、オートキャンプ場）の管理運営を行う。